

令和4年度

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

北海道版結果報告書

北海道教育委員会

令和5年(2023年)6月

【はじめに】

令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査を詳細に分析し、北海道版結果報告書として取りまとめました。

本報告書では、実技に関する調査と児童生徒質問紙調査の結果をテーマ別に分け、関連する項目を多角的に分析したり、本道の結果と成果を上げている他の都府県の結果を比較したりすることにより、現状や課題を詳細に分析し、各教育委員会や学校等における体力向上の取組の参考となるよう、今後の取組の改善の方向性や具体的な取組などを掲載しています。

本道の状況は、小・中学校男女いずれも依然として全国平均より低い状況であるものの、小学校の男女では全国平均との差が縮まっており、改善の兆しが見られています。その一方で、中学校の男女においては、その差が広がっている状況にあります。また、本道の児童生徒は、授業の中で「わかった」「できた」を実感している割合が全国と比べて低い状況にあることから、運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成につながる体育・保健体育の授業改善を進めることが重要であると考えています。さらに、児童生徒質問紙調査の状況においては、前年度と同様に全国と比較し、1週間の総運動時間が短く、平日のスクリーンタイムが長い児童生徒が多いことなど、基本的な生活習慣に課題が見られることから、家庭や地域と連携した望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組を一層充実させることが必要であると考えています。

道教委では、児童生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行い、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を身に付けることができるよう、市町村教育委員会、学校、家庭、地域との連携を一層深めるとともに、地域や学校の実態に応じた効果的な体力向上の取組を推進していきます。

教育関係者や保護者の方々のもとより、広く道民の皆様には、本道教育の推進に向け、引き続き深い御理解と御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年(2023年)6月

北海道教育委員会教育長 倉本博史

【目次】

I 全道の状況	
1 実技に関する調査	4
2 体力合計点総合評価の児童生徒の割合	8
3 体格と肥満度に関する調査	10
4 児童生徒質問紙調査	12
5 学校質問紙調査	20
II テーマ分析	
1 テーマ1「本道児童生徒における体力の現状分析」	30
2 テーマ2「体力向上に向けた体育科・保健体育科の授業改善」	38
3 テーマ3「児童生徒の望ましい生活習慣や運動習慣の確立」	58
4 テーマ4「体力向上に向けた学校の組織的な取組」	72
III 北海道の体力向上の取組に関する改善の方向性	
1 体育・保健体育授業の改善・充実に向けた取組の方向性	76
2 令和4年度(2022年度)の道教委の取組	83
IV 北海道の児童生徒の体力向上に向けた有識者の意見	
1 北海道の小・中学校男女の体力向上に向けた有識者の意見	86
V 各管内の状況	
1 管内の体力合計点の分布	92
2 管内の状況、分析及び改善の方向性	94
VI 各市町村の状況	
1 市町村の体力合計点(T得点)の度数分布	124
2 市町村の状況及び体力向上策	125

調査の概要

(1) 調査の目的

- 国が全国的な児童生徒の体力・運動能力や運動習慣・生活習慣等を把握・分析することにより、児童生徒の体力・運動能力や運動習慣等の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会が全国的な状況を踏まえ、児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、児童生徒の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

(2) 調査の対象及び調査内容

	調査対象	調査内容
児童生徒	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5年生全員 ・中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程及び特別支援学校中学部の2年生全員 	<ul style="list-style-type: none"> ・実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体カテストと同様） 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン（中学校は20mシャトルランに替えて持久走も可）、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ（中学校はハンドボール投げ） ・質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）
学 校	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校及び小学部もしくは中学部を置く特別支援学校の全校 	<ul style="list-style-type: none"> ・質問紙調査（児童生徒の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る学校の取組等）

(3) 調査の方法 悉皆調査

(4) 調査の実施期間

令和4年（2022年）4月から令和4年（2022年）7月末までの期間で実施

(5) 実施学校数・児童生徒数（札幌市を含む公立学校）

北海道	実施校数（校）	児童生徒数（人）	全国	実施校数（校）	児童生徒数（人）
小学校	980	38,085	小学校	18,435	973,545
中学校	597	35,278	中学校	9,192	857,594
合 計	1,577	73,363	合 計	27,627	1,831,139

【用語説明】

用 語	解 説
体力合計点	種目によって単位が異なる測定値を、単位が共通な10点満点の「ものさし（尺度）」に変換し、8種目の結果を合計した得点（80点満点）
T得点	全国平均値に対する相対的位置を示し、単位や標準偏差が異なる調査結果を比較（全国平均を50とした時の数値）
総合評価	体力合計点の高い順にA～Eの5段階で評価

【留意事項】

- 本資料において、北海道及び全国の状況は、いずれも公立学校について示したもの
- 国における実技調査、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査の回答の精査に当たっては、性別不明など一部のデータは集計・分析の対象外
- 児童生徒質問紙と学校質問紙調査のレーダーチャートは、全国の割合を100とした場合の北海道の値（チャート指数：北海道の割合÷全国の割合×100）で表示
- 本調査結果は、児童生徒の体力・運動能力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと